



新聞まさひこ通信 曙

あけぼの



公明党福岡県議団 会報

発行責任者

福岡県議会議員

新開 昌彦

福岡市早良区曙2-1-35

Vol.85号

令和2年5月3日発行

議会報告

「新型コロナウイルス感染症」でお亡くなりになった方々に心からお悔やみ申し上げます。そして今も命がけで医療現場に携わる皆様、社会生活維持に奮闘される皆様に心から感謝申し上げます。
皆さんと力を合わせこの難局を勝ち超えましょう。



「新型コロナウイルス感染症」対策を 代表質問・公明党の緊急要望で小川知事に迫る

今回の代表質問の一番目に、新型コロナウイルス感染症対策を質問しました。

①重症化させないための検査、医療体制②中小、小規模事業者に対する支援③学校の長期休業で子ども達が心配。子ども達への対応について質問しました。



©KOMEITO

知事は、①重症化対策として、医師会、大学病院感染症指定医療機関そして協力医療機関に受け入れの要請をしている。②県の「緊急経済対策資金」の幅広い業種の方々に活用してもらう。

教育長は、③電話、家庭訪問で子どもの情報収集、スクールカウンセラーを活用した教育相談を学校に促していく。



新開昌彦は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

「新型コロナ対策」第二弾 知事に18項目の緊急要望



小川知事に緊急要望を行う公明党福岡県議団

公明党福岡県議団は、4月17日、県庁内で小川知事に新型コロナウイルス対策に関して、3月15日の経済対策に次いで第2弾の緊急要望を行いました。

席上、森下団長は、①国民全員に一律10万円の給付が実施される際の迅速な支給体制整備②県の不要不急の事業を凍結しその分の予算を影響があつた事業者支援に——など18項目を求めました。

知事は、「市町村とも連携し、この状況を打破していきたい」と応じました。